

日吉大社自然観察倶楽部通信

No.31 もんきつき自然塾

H29年8月11日

夏休みのど真ん中、19名の参加者(子どものみの数)と日吉大社で森遊びをしました。観察倶楽部では3年目です。(⇒通信30もんきつき自然塾 森遊び参照)



まずは、日吉会館で竹の水鉄砲を作ります(写真左上)。各自、好きな竹筒を選び、水を押し出すスポンジと布の部分を工夫しました。皆真剣な顔で取り組んでいます。

次は、宇佐宮前の参道で森遊びですが…が、なかなか始まりません。というのも、参道沿いでニホントカゲを見つけ、そのしっぽが切れたことで大盛り上がり。トカゲや虫取り大会の始まりです。左下の写真は、アリジゴクの巣とその周りにいた成虫(ウスバカゲロウ)です。バッタやカニなど、日吉大社には生き物がいっぱいいる事が再確認できました。

なんとか宇佐宮前にたどり着き、宝探しゲームというネイチャーゲームを楽しみました(写真右下)。宝物が書いてあるカードを手に、宝物を探します。写真の子どもたちは、宝物の中の一つ「ぬけがら ひとつ」を見つけた所です。



次は、動物ヒントリレーです。一人ずつ、ばらばらに切られた動物の絵のカード

から1枚だけ絵を見ることが出来ます。それをチームで話し合い、どんな動物がいたかを当てるゲームです。(写真は左下) みんな一生懸命走って、カードをめくり、答えが当たると歓声が上がっていました。ゲームが終わると、お昼ご飯です。今年の夏は比較的涼しいので、日吉会館でご飯を食べる人が多かったです。



徐々に増えてきた雨雲を心配しつつ、いよいよ川遊びです。(写真は右上)

日吉会館で濡れてもいい服装に着替え、大宮川で川遊びをしました。この前の大雨で、水位は高くなっています。水が落ち込んでいるところは深い・石の上の濡れたコケは滑る…など、基本的な注意を確認して川に入りました。作った水鉄砲で遊ぶ子、川の中の水生昆虫や魚・サワガニを捕まえる子、箱メガネで水中を覗いている子など、それぞれが楽しい遊びを見つけていきます。水量が多いことで、サワガニを捕まえている子がほとんどでしたが、時間が経つにつれて、他の生き物の存在にも気づいてきたようです。ヘビトンボの幼虫やプラナリアを捕まえたり、魚の稚魚を捕まえたりした人もいました。砂金を探していた人も…。

今回は、ゆったりとしたプログラムの中で、日吉大社の自然を楽しむことが出来ました。満足していただけたでしょうか？また来年お会いしましょう。



詳しくは [日吉大社自然観察倶楽部HP](#)にて